

校歌

作詞・手戸みち子
作曲・川添登世子
田中ふゆみ

一、光ゆたかにあびて立つ
わが学舎に集い寄る
友よ共に手をととりて
若き今日を上げもうよ

二、晴れたる空につらなれる
恵庭の峰のすがしき日
友よ共に仰ぎ見て
若き夢をかたろうよ

三、大地に根ざす白樺の
強き力を心とし
友よ共に声高く
若きよろこび歌おうよ



校歌のゆらい

創立当初、「手のひらを太陽に」を歌っていましたが、昭和44年、手戸みち子（作詞）、川添登世子・田中ふゆみ（作曲）の各職員によって校歌が作られ、5周年記念行事の際に披露されました。覚えやすいメロディーと力強い歌詞が生徒にも好評で、今もなお愛唱されています。



校章のゆらい

創立当時、生徒から「帽子に校章がないのが嫌だ」という声が挙がり、生徒から募集したところ「白樺の葉がいい」ということになり、職員と生徒が共同で白樺の葉を図案化して制定しました。

